

## HOT TOPICS

### 始めよう、読書生活

新生活を機に、  
読書を始めませんか？

↓ 先生方のお勧め図書を  
今すぐチェック!!



## information

### 2009年度前期 図書館展示と講演会

#### 「世界のイソップ絵本 —イギリス・フランス・日本—」

展示 前期 5/11(月)～5/30(土) 後期 6/8(月)～7/11(土)

動物のイメージは、国や時代によって異なります。日本では、狐は、神、妖怪、純心、狡猾、女、男と様々に語られます。ヨーロッパ、特に英仏ではどうでしょうか。世界に伝播したイソップ寓話は、英仏日でそれぞれ特色のある受けとめ方をされてきました。特に絵本は、時空を越えて共通する点が見出されると共に、時代、国、画家の個性も際立っています。狐が登場する有名な話について、英仏日のイソップ絵本を見比べてみたいと思います。

#### ●春季展示「太宰治展 生誕100年を記念して」

4/2(木)～5/2(土)

2009年は、太宰治生誕100年の年にあたります。本学図書館で所蔵している太宰治の初版本を中心に展示いたします。展示ケースの外に、初版本の復刻版などを手にとってご覧いただけるよう展示いたします。



#### 今後のschedule

「所蔵資料展」(仮題)  
【展示期間】7月中旬～9月下旬  
「人を生かす聖書のことば展」(仮題)  
【展示期間】10月中旬～11月下旬  
【講演会】「知っておきたい聖書のことば」(仮題)  
日時:10月下旬予定  
講師:梅花女子大学文化表現学部 日本文化創造学科 教授 米川明彦

図書館3階メインカウンター前に展示コーナーがあり、年に数回展示を行っています。展示に関連した講演会も年2回実施しています。貴重な資料、興味深いお話を見聞きできるチャンスです。みなさんの参加をお待ちしています!(いずれも無料です)

講演会 5/26(火) 受講料無料 要事前申し込み (スクールバスでお越しの方に限ります)

【時間】13:00～16:10 (シンポジウム形式で行い、中で展示のギャラリートークもします)

【定員】60名 【場所】茨木学舎

【講師】梅花女子大学 名誉教授 三宅興子・高岡厚子  
文化表現学部 児童文学科 教授 加藤康子

ギリシャに始まり世界に伝播したイソップ寓話は、各地でさまざまな絵入り本や絵本で読み継がれてきました。英仏日の絵本を見比べてみると、共通する点やそれぞれの画家や文化の独自性を見出すことができ、興味深く思われます。狐が登場するよく知られた話を取り上げて、いろいろなイソップ絵本を見ていただき、そこに込められた意味を考えていきたいと思います。

# 始めよう、読書生活

## 現代人間学部

オススメ

人間福祉学科 玉置 好徳先生

『社会認識の歩み』

内田義彦著  
岩波書店 1971年9月刊  
【所在：2階 請求記号：301IU-111】

ヒトのココロを学ぶ!



私たちの日常は、一見家庭、学校、バイト先…などごく身近なところで完結しているように思われます。

ところが、その日常世界はもっと大きな「社会」という存在とつながっていることを実感するときが誰しもあることでしょう。たとえば、「就活」などもその一つです。

人は社会とどのように向きあってきたのか。その「歩み」を知ることは、あなたの視野を大きく広げることに繋がることでしょう。

オススメ

人間福祉学科 綾部 貴子先生

『あなたを育てる対人援助の本：これさえ読めばよく分かる相談ガイドブック』

岡田誠監修；楠戸貴子、山田和子編集  
久美出版 2006年10月刊  
【所在：2階 請求記号：369.16IU49】



世の中には人とかかわる機会が多くあります。仕事においても対人関係が必要不可欠な職業も多くあり、人を支える（援助する）職業も存在します。この本には、対人援助の仕事や人を援助することに興味のある人のために、人を支えるうえでのヒントが多く紹介されています。人を支えるためにはまず、自分自身も成長していくことが必要となります。この本には、援助の際の大切な視点について、読者の現時点での達成状況に応じて、ホップ（初級）、ステップ（中級）、ジャンプ（上級）で説明されています。事例演習もあり、自分が援助者だったらどう支えるのか?といったイメージトレーニングもあります。

また、ワークブック形式で、自分でチェックをしたりする自己体験もでき、自分自身についての気づきがあったり自己成長できる内容も含まれている本です。

オススメ

人間福祉学科 塚口 明洋先生

『意中の建築 上巻、下巻』

中村好文著  
新潮社 2005年9月刊  
【所在：2階 請求記号：520.4IU37II(1)(2)】



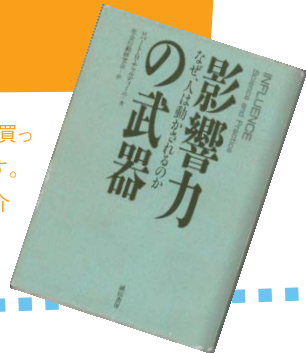
いい本との出会いが人を幸せな気分にくるよう、いい建築との出会いも人を幸せな気分してくれます。この本を読むとそんな事を感じさせてくれます。どこからでも気楽に読み始めてください。

オススメ

心理学科 阿部 晋吾先生

『影響力の武器：なぜ、人は動かされるのか』

ロバート・B・チャルディーニ著；社会行動研究会訳  
誠信書房 1991年9月刊  
【所在：2階 請求記号：361.5IU71】



「残り3個!」や「今売れています!」と書いてあると、ついつい買ってしまうのはなぜか?その答えは、この本の中に書いてあります。説得についての心理学の研究や実例をわかりやすく紹介してくれる、非常に面白い本です。

## 文化表現学部

オススメ

国際英語学科 大橋 千秋先生

『英語を学べばバカになる：グローバル思考という妄想』

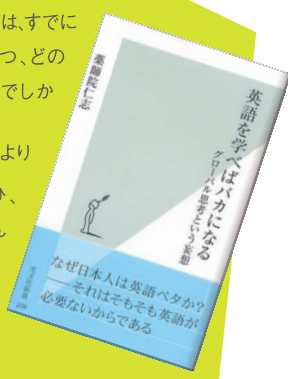
栗師院仁志著  
光文社 2005年5月刊  
【所在：5階北 請求記号：830.4IY16】

考え、表現し、発信する!

英語の時代は、もう終わりつつある。いや、ある面ではすでに終わってしまったのかもしれない。今や、問題は、いつ、どの時点で、人々がその事実気づくのかということではないだろう。

——「はじめに」より

ショッキングな書き出しです。僕は皆さんにぜひ、この本を読んでもらいたいと思います。それは皆さんに英語の勉強をやめてもらいたいからではなく、自分が何の目的で英語を学ぶのか、何の目的に英語を使うのかということ、自分の頭でしっかりと考えてもらいたいからです。健闘を祈ります。

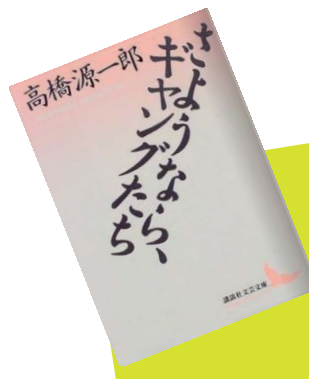


オススメ

児童文学科 田中 裕之先生

『さようなら、ギャングたち』

高橋源一郎著  
講談社 1982年10月刊  
【所在：4階北 請求記号：913.6IYA33】



アヴァン・ポップ文学の最高峰(だと思う)。笑って、あきれて、びっくりして、泣けます(たぶん)。講談社文芸文庫で入手可能(高いけど)。タカハシさん、結局、これを超えるものを書いてないんじゃないかな(本人が聞くと怒りそうだけど)。

オススメ

児童文学科 福井 善子先生

『14ひきのあさごはん：ピアノ連弾のための組曲』

寺島尚彦作曲  
音楽之友社 1985年12月刊  
※絶版のため入手できません。

絵本「14ひきのあさごはん」(いわむらかずお作 童心社)にもとづいて作られた曲集。

ピアノ連弾のスタイルで、とりわけPRIMA(高音パート)は初心者にも取り組みやすく書かれています。

絵本の世界を音楽で表現する喜びとともにアンサンブルの醍醐味も味わえます。





新しい本との出会いは、いつだってうれしいもの。  
 今回のBLTでは、先生方のお薦めの本をご紹介します。  
 さまざまな分野の本、また雑誌やビデオなど、幅広くお伺いすることができました。  
 おもしろい本が読みたい!と思っている人は、ぜひ参考にされてはいかがでしょうか。  
 図書館の利用については「Library Guide」「Floor Map」「図書館ホームページ」をご覧ください。

※  マークの資料は図書館に所蔵しています。



## 短期大学部

### オススメ

生活科学科 藤岡 次郎先生

#### 雑誌『専門料理』

柴田書店  
 【所在：2階 電動書架(国内雑誌) 所蔵巻号：42(5-12),43,44(1)+ 所蔵年：2007-2009継続中】

食に関心の有る人、調理師を目指す若い人たちにとって料理への憧れや興味を満たしてくれる雑誌を紹介しします。

専門料理という誌名のとおりプロの調理師の愛読書として知られていますが料理入門の手引書ともなります。有名料理人の体験談、エッセイ欄、旬の食材や和、洋、中、デザートなどの新しい調理法をプロセス写真付で詳しく解説した特集記事、特に毎年四月号は調理師を目指す若い人向けの特集記事が組まれています。未知の料理との出会いに心ときめかしてください。



「なりたい」を見つける!

### オススメ

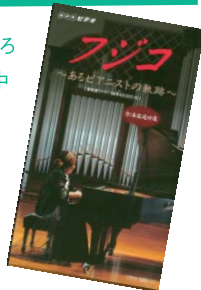
英語コミュニケーション学科 此枝 洋子先生

#### ビデオ『フジコ：あるピアニストの軌跡』

NHK SOFTWARE 1999年10月刊  
 【所在：5階南 視聴覚資料室 請求記号：VIDEO12165】

ショパンのピアノ協奏曲第一番が好きで、いろいろなピアニストの演奏を聴いてきました。その中でフジコ・ヘミングの演奏は心に響くものでした。それ以来、フジコ・ヘミングの演奏するリストやショパンの曲に力と勇気をもらっています。

フジコ・ヘミングは豊かな才能をもちつつも、不運や不幸、具体的には、ヨーロッパ留学に際して国籍を失うという不運や、やっどドイツに留学しヨーロッパでの注目を集めた矢先に聴力を失い、その後その聴力は片耳が40%しか回復しないという不幸により、人生のどん底を味わいました。しかし、そこから、彼女は音楽により「生きる力」を再び見出し、困難を乗り越えて、今、すべての思いをこめてピアノ演奏を続けています。人生の辛さ、不条理さをも全部受け入れた後で、そこから「再び生きる力」「困難を乗り越える力」を、彼女のピアノ演奏は私たちに与えてくれます。その調へは「いやしの力」を持ち、「私は私自身でよい」ことを教えてくれます。



### オススメ

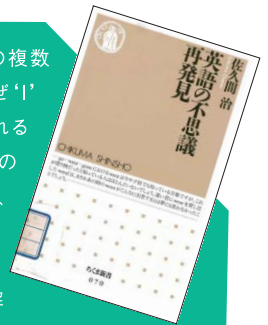
英語コミュニケーション学科 松原 正行先生

#### 『英語の不思議再発見』

佐久間治著  
 筑摩書房 1996年5月刊  
 【所在：5階北 請求記号：830.411SA45】

皆さんはなぜ、'child'の複数形は'children'なのか、なぜ'I'はいつも大文字で表記されるのか、なぜ3人称単数現在の動詞には、's'がつくのか、などについて不思議に思ったことはありませんか。そのような疑問を本書がみごとに解決してくれます。

皆さんはこれまで英語の文法は十分学んできたと思います。本書は少し見方を変えて、英語とはどんなことばなのか、についてまきく目からうろこが落ちるように明らかにしてくれます。語り口もエッセイ風で読みやすく、英語に興味のある人に是非ご一読をお勧めします。もっと英語が好きになりますよ。



### オススメ

日本文化創造学科 荻田 清先生

#### 『落語と私』

桂米朝著  
 文芸春秋 1986年3月  
 【所在：2階 請求記号：779.111K488】

現在ただ一人人間国宝に指定されている落語家が、「落語」という芸能を解説してくれています。作品の内容もわかり、歴史も教えてくれます。もともと中高生向けに書かれたものですが、この一冊で落語の本質が見えてくる文庫本です。



### オススメ

日本語表現科 長谷川 和子先生

#### 『絵本を抱えて部屋のすみへ』

江國香織著  
 白泉社 1997年6月刊  
 【所在：4階南 請求記号：909.811E44】

絵本をめぐる35篇のエッセイがおさめられています。絵本は、子どもたちだけのものではありません。なつかしい絵本に再会するもよし、新しい絵本と出会うもよし。物語の魅力を見事に再現した江國さんの案内に導かれて、あなたもきっと夢中になることでしょう。文庫本があることもうれしい。さらにうれしいことは、紹介された絵本たちが、図書館でもうすでに私たちを待っていることです。



### オススメ

情報メディア学科 平松 克一先生

#### 『楽しい読書生活：本読みの達人による知的読書のすすめ』

渡部昇一著  
 ビジネス社 2007年9月刊  
 【所在：2階 請求記号：01911W46】

読書は、「精神の栄養」だという。栄養はサプリメントでも摂取できるが、「おいしさ」は味わえない。読者に伝えたい思いを、著者が心を込め、多くの時間と時には命がけで作上げた一冊の「本」を書斎や図書館でゆったりと腰掛けて、五感を使って読む楽しさが「本」にはあるという。渡部氏の読書歴から始まって読書の意味、読書のコツ、読書のすすめなど知的読書生活の楽しさを具体的に明快に説いている新入生必見の一冊である。



### オススメ

日本語表現科 大谷 伊都子先生

#### 『不思議の国のアリス』

ルイス・キャロル著；アーサー・ラッカム絵；高橋康也、高橋迪訳  
 新書館 1985年10月刊  
 【所在：4階 児童書 請求記号：児童書9331C22】

子供向けの絵本や童話などで抄訳を読んだことのある人も多いと思いますが、ここでご紹介するのはきちんと翻訳されたものです。「不思議の国」では、登場するキャラクターもシチュエーションも会話もへんてこりん。読み進むにつれて、私たちの頭の中が引っかき回され、「当たり前」と思っていたことがらが怪しくなってくる不思議な感覚を味わうことができます。

また、この物語にはいろいろな翻訳がありますが、もう一冊、詩人が訳したルイス・キャロル自身の挿絵によるものをあげておきます。訳が違うと、物語全体の雰囲気も違ったものに……。どちらがお気に入りでしょうか。

『ふしぎの国のアリス』 ルイス・キャロル作・絵 北村太郎訳(王国社)







# Essay

## 「世界のイソップ絵本を見比べる」

梅花女子大学 名誉教授 三宅興子・高岡厚子  
文化表現学部 児童文学科 教授 加藤康子

世界中で絵本の魅力が注目されています。各国でさまざまな絵本が創作されていますが、作家の個性以外に、それぞれの国の歴史・文化や国民性を反映した特徴が見受けられます。そこで、英仏日の絵本の比較を試してみました。共通テーマとして、動物が主人公になっている話に着目し、イソップ寓話の狐の話から「狐と鶴」「狐と鳥」「狐と葡萄」「狐と山羊」の4話を取り上げました。

イソップ寓話は、動物によって短い話が展開するために、やさしくてこども向きだと思われがちですが、人生のさまざまな難問や悩みを取り上げ、時に辛辣に、時にユーモラスに、時に思慮深く語られ、いろいろなことを考えさせてくれます。紀元前6世紀にギリシャで奴隷の身分のイソップ(アイソポス)が書いたといわれていますが、決して遠い過去の遺物ではありません。自分が日々の体験から感じていることに通じる内容であることに驚き、自分とは異なる見方にヒントをもらう話が多くあります。長きにわたって世界中で読まれてきたイソップ寓話は、現代の読者にとっても年齢を超えて享受できる新鮮な読み物です。

イソップ寓話は世界へ伝播し、各国で書き留められたり、口伝えで浸透したりしました。時代や国によって話の内容や教訓、登場する動物などが異なっている話もあります。

絵が加えられると、ことば以外の表現が増え新たな世界が広がりました。イギリスでは、多くのイソップ寓話の本が出版され、100話ほどを収めたテキスト体裁のものから、1話を絵本化したものまで多様に受容されました。それに対してフランスでは、ラ・フォンテーヌが『寓話』の中で、彼の独自の文体と解釈によってイソップの話を再話したものが長く定着してきました。その文章に多くの画家が各々挿絵を添えています。

英仏のイソップ絵本は、中世の挿絵に端を発しながら、話によって定番の描き方を継承しています。例えば、「狐と鳥」では、1本の木に止まった鳥が丸いチーズを啜り、その下で狐が恨めしそうに見上げている構図が多く見られます。ところがその背景、鳥が啜っている物、狐の表情などを比較していくと、時代、国、作家の違いが見出せるのです。

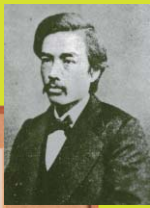
一方、日本では室町期にキリスト教布教の宣教師達から伝えられたイソップ寓話は「伊曾保物語」としてローマ字や国字で何度も刊行されました。幕末には『絵入教訓近道』にも収められ、その挿絵には和服を着た鳥や狐が描かれていて日本独自の受容の姿が見られます。明治以降は再度英語からの翻訳本が『通俗伊蘇普物語』など様々に出版され、挿絵にも英語本の影響が見られます。大正・昭和期に絵本が盛んに刊行されるようになると、その擬人化などに日本の多様な狐のイメージが反映された特性も見受けられます。

イソップ絵本を英仏日で比較することは、イソップ寓話の解釈のみならず、お国ぶりや画家の個性の違いを発見できる、興味深い視点と思われれます。(文責・加藤)

## 澤山記念館資料展示ホールのご案内



創立者澤山保羅と愛誦聖句



澤山記念館資料展示ホール

### 梅花学園の歴史 — 常設展示 —

澤山記念館チャペル横にある資料展示ホールでは、当学園の歴史に関連する資料を、写真を中心に常設展示しています。是非立ち寄ってご覧ください。

保羅の愛誦聖句である「何事も人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりによせよ」(マタイによる福音書7章12節)は他者への愛に生きた彼の精神そのものです。現在この言葉は梅花学園のスクールモットーとして根つき、自立した多くの女性を育成するという教育目標としても受け継がれています。

展示時間：9:00～16:00 (月～金)

展示場所：澤山記念館資料展示ホール

## 本学教員著作資料 (2008年度ご惠贈)

(敬称略)

書名	著者	出版社	請求記号
神話にみる女性のイニシエーション (ユング心理学選書:20)	シルヴィア・B・ベレラ著; 杉岡津岐子,小坂和子,谷口節子訳	創元社	367.2II P41
若きマーク・トウェイン"生の声"から再考	那須雅雅,市川博彬,和栗了編著; David J. Zmijewski執筆	大阪教育図書	930.28II T-1III 14
スコットランドの歴史と文化	日本カレドニア学会創立50周年 記念論文編集委員会編;鶴野祐介執筆	明石書店	233.2II N71
伝承児童文学と子どものコスモロジー: 「あわい」との出会いと別れ	鶴野祐介著	昭和堂	909.9II U77
次世代をはぐむために:昔話研究を幼児教育に活かす	小長谷有紀,加藤康子 [ほか] 編著	[国立民族学博物館]	909.9II KO71
超訳日本の古典:1~12	加藤康子監修	学習研究社	児童書918II C57II (1)~(12)
梶山俊夫 絵本と絵巻の世界	梶山俊夫[画]; 香曾我部秀幸編集・デザイン	神戸新聞社	909.88II KA23
「こどものとも」絵本原画展	香曾我部秀幸編集	神戸新聞社	909.81II KO88
林明子の世界:絵本原画展	香曾我部秀幸編集	神戸新聞社(制作)	909.88II H48
ことば観察にゆうもん (月刊たぐさんのふしぎ:第277号)	米川明彦文;祖父江慎絵	福音館書店	814II Y83
ロバート・ウェストル (現代英米児童文学評伝叢書:11)	三宅興子著	KTC中央出版	909.028II W62II M76
児童文学の源泉としてのアニミズム (梅花学園生涯学習センター公開講座ブックレット:Vol.01)	—	梅花学園生涯学習センター	909.02II J48

## 統計

本学図書館の2008年4月1日～2009年1月31日までの入館者数は59,090人、開館日数は227日、1日平均入館者数は260人、総貸出点数は23,752点、1日平均貸出点数は105点です。

蔵書構成は、和書が258,174冊、洋書が75,177冊。テーマ別で見ると、文学が一番多く、次いで社会科学、総記の順です。(2008年3月31日現在)

### 蔵書 (2008年3月31日現在)

図書 = 333,351冊

雑誌・紀要 = 2,924タイトル

視聴覚資料 = 21,547点

※「紀要」:大学等研究機関が発行している論文集

※「視聴覚資料」:カセットテープ、CD、ビデオテープ、DVD、CD-ROM、マイクロ資料、紙芝居等

◎より詳しい図書館の現況・利用状況については、ホームページをご覧ください。

## 梅花女子大学図書館

〈月～金〉8:50～17:45

〈土〉8:50～16:00

〒567-8578

大阪府茨木市宿久庄2-19-5

### 【図書館】

tel 072-643-8498

fax 072-643-1952

e-mail blibrary@baika.ac.jp

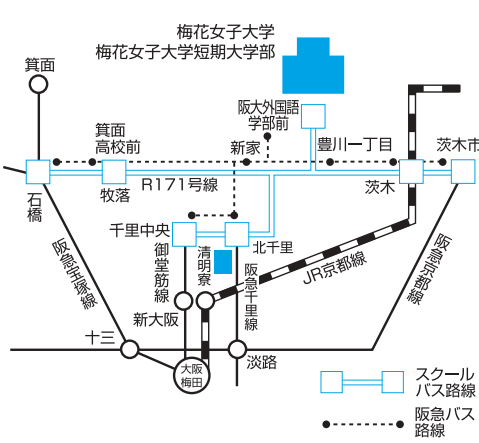
### 【学園資料室】

tel 072-643-8447

fax 072-643-1952

e-mail shiryo@baika.ac.jp

### 【交通路線図】



## よもやま

- 新入生のみならず、ご入学おめでとうございます。卒業までの間、図書館との付き合いをよろしくお願いします。● BLT (ビーエルティ) 18号をお届けします。今回は、先生方から「お薦めの資料」をご紹介します。気に入ったものから順に、読破されてはいかがでしょうか。● 三宅先生、高岡先生、加藤先生から「世界のイソップ絵本を見比べる」と題して、興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。先生方には5月からの展示、講演会も行っています。みなさんも是非ご参加ください。● 今年は、中島敦、太宰治、松本清張ら昭和文学を代表する作家の生誕100年にあたります。これを記念して、4月から「太宰治展」を開催。この機会に、読み返してみたいかがでしょうか。● 次回19号の発行は、10月頃を予定しています。ご期待ください。

### 学外の方へ

本学図書館は、高校生以上の女性の方に公開しています。ただし、大学や研究機関に所属されている方は、男女を問わず、所属機関の紹介状が必要です。これらに該当されない方は、お問合せください。いずれの方も来館される前にご連絡ください。